

令和4年度冬季特別展覧会

「知られざる肥後の絵師2023」を開催します

～熊本で活躍した絵師たちの屏風や掛け軸を紹介～

八代市立博物館未来の森ミュージアムでは、開館以来、肥後ゆかりの絵画作品を収集してきました。

本展覧会は、当館収蔵品の中から、江戸時代から明治・大正時代にかけて、肥後・熊本で活躍した絵師たちの絵画作品(屏風や掛け軸)を紹介するものです。熊本の知られざる絵師たちの画業と魅力に触れ、郷土の文化への興味を深めていただける内容です。

- 1. 展覧会** 令和4年度冬季特別展覧会
未来の森ミュージアムコレクション「知られざる肥後の絵師2023」
- 2. 会 期** 令和5年2月3日(金)～3月12日(日) (休館日:毎週月曜日)
- 3. 会 場** 八代市立博物館未来の森ミュージアム特別展示室・第二常設展示室
(八代市西松江城町12番35号 0965-34-5555)
- 4. 主 催** 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市
- 5. 観覧料** 一般400円(320円) 高大生300円(240円) 中学生以下は無料
※()内は 20 名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方は無料

6. 内 容

八代市立博物館未来の森ミュージアムが収蔵する絵画作品 24点を展示(当館初公開7点)

【見どころ】

- ① 迫力ある大画面の屏風絵を一堂に展示(「山水図屏風」や「花鳥図屏風」など)
- ② 竹富清嘯、近藤樵仙、高橋廣湖など、幕末から明治にかけて人気を博した絵師たちの作品がズラリ
- ③ 御用絵師狩野養長による有名な「蒙古襲来絵詞」の模写作品
- ④ 文政村(現鏡町)で活躍した絵師園田耕雪の代表作「鹿子木量平肖像」
「鹿子木謙之助肖像」を特別出品 など

7. 関連イベント(特別講演会) (詳しくはチラシ参照)

日 時 令和5年2月23日(木・祝日) 14時～15時半

演 題 「近世から近代へ、激動の時代を生きた肥後・熊本の絵師たち」

講 師 石原浩・鳥津亮二(本館学芸員) ※博物館講義室にて 聴講無料 定員40名

問合せ 八代市立博物館未来の森ミュージアム
TEL 0965-34-5555

担当:石原・鳥津



未来の森
ミュージアム
コレクション

八代市立博物館未来の森ミュージアム令和四年度冬季特別展覧会

知られざる 肥後の絵師 2023

令和5年
2月3日[金]
～
3月12日[日]



孔雀図 近代 近藤樵仙筆

享和七年

樵仙謹寫

近藤

- 開館時間／9時～17時(ただし入館は16時30分まで) ●休館日／毎週月曜日 ●主催／八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市 ●協賛／八代市立博物館友の会
- 観覧料／一般400円(320円) 高大生300円(240円) 中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方は無料

●特別講演会 2月23日(木・祝)14時 演題「近世から近代へ、激動の時代を生きた肥後・熊本 of 絵師たち」講師／石原浩・鳥津亮二(八代市立博物館未来の森ミュージアム学芸員)

※電話による事前申込が必要です。2月6日(月)9時～受付開始。定員40名に達し次第締切ります。お問合せ：八代市立博物館(0965・34・5555)

八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866・0863 熊本県八代市西松江城町12・35 TEL0965・34・5555



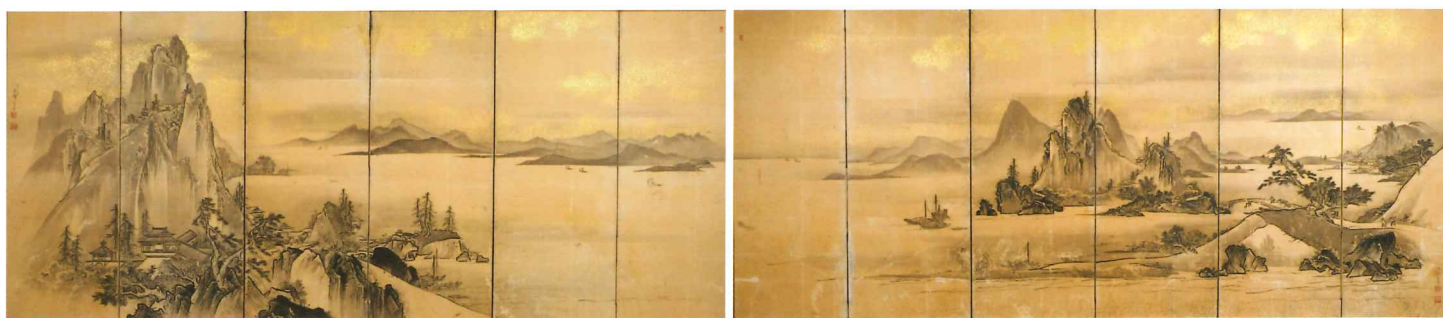
新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで実施します。ご来館の際は、マスク着用など感染防止対策にご協力ください。入館人数が上限に達した場合は、入場を制限することがあります。

知られざる肥後の絵師たちによる多彩な作品の魅力を彼らを支えた人々や文化的背景とともに紹介

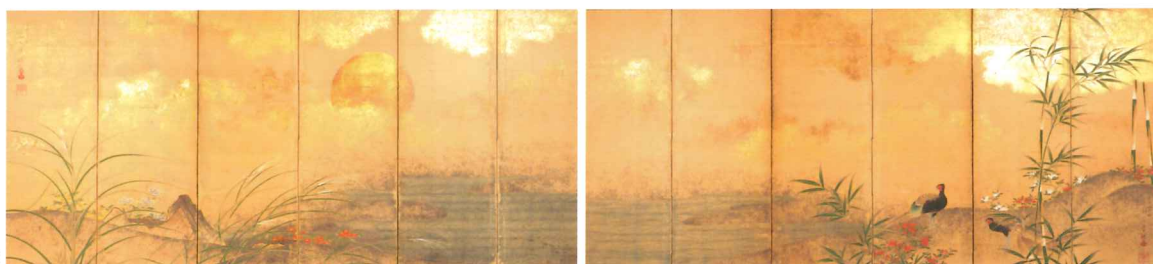
八代市立博物館未来の森ミュージアムは、開館以来、肥後ゆかりの絵画作品を積極的に収集してまいりました。細川家の御用絵師「矢野派」の作品に始まり、幕末・近代に活躍した絵師、そして現代作家の作品によって構成され、肥後・熊本の絵画史を概観するコレクションとなりました。

本展覧会は、未来の森ミュージアムコレクションのなかから、江戸時代から明治・大正時代まで肥後・熊本で活躍した絵師たちをその代表作とともに紹介します。最大の見どころは、迫力の大画面を有する屏風が一堂に並ぶこと。雪舟の流れを汲む矢野派の絵師による「山水図屏風」(写真①)や「花鳥図屏風」(写真②)は、狩野派とは一味違った清々しさが漂い、我々を憧れの桃源郷へと誘ってくれます。また、幕末から明治にかけて人気を博した南画家・竹富清嘯(せいしょう 写真③)、東京の日本画壇に進出して旧派・新派の日本画壇で個性を發揮した近藤樵仙(しょうせん 写真=表)や高橋廣湖(こうこ 写真④)など、激動の時代を生きた熊本の画家たちを紹介します。

他にも、肥後狩野派のひとり狩野養長(おさなが)が歴史絵巻を模写した「蒙古襲来絵詞(もうこしゅうらいえことば)」(写真⑤)、明治から大正時代にかけて文政村(現八代市鏡町)で活躍した絵師・園田耕雪(こうせつ)の代表作「鹿子木量平(りょうへい)肖像」(写真⑥)などが特別出品されます。知られざる肥後の絵師たちによる多彩な作品の魅力を、彼らを支えた人々や文化的背景とともに紐解きます。



①



②



③



④



⑥

- ① 山水図屏風 嘉永4年(1851) 近野行廣筆 八代市立博物館蔵
- ② 花鳥図屏風 江戸時代後期 矢野良勝筆 八代市立博物館蔵
- ③ 瓶花図 明治27年(1894) 竹富清嘯筆 八代市立博物館蔵
- ④ 機織図 近代 高橋廣湖筆 八代市立博物館蔵
- ⑤ 蒙古襲来絵詞(部分) 明治4年(1871) 狩野養長筆 八代宮蔵 八代市立博物館寄託
- ⑥ 鹿子木量平肖像 明治32年(1899) 園田耕雪筆 個人蔵 八代市立博物館寄託

【交通のご案内】

- JR** 鹿兒島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」/八代市役所前]いずれかのバス停下車
- 車** 八代I.Cから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すぐ ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555 FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>